

人口減少、ICTの急速な発展が進む中、地域のあり方が非常に難しくなっていると感じる。都会の真似をしても仕方がないので、都会と共にどう生きるか。共生の考え方が大切である。

若者を県外に流出させないため、局において家庭や企業・大学・専門学校・高校等をつなぎ連携を深める取組を盛り込めないか。

地域に帰ってきたいという声もたくさんある。実際に移住している人もいる。そのための地域づくりというのが一番大切と思い、取り組んでいる。

高齢者が輝けるような、いきいきできる場所にしていければいい。

地域に伝わる伝統行事を各地域で掘り起こしていけたら地域に元気が出ると思う。

外国人観光客のキャッシュレス化への対応が急務である。

「北薩地域 地域振興の取組方針」策定にあたり、地域の有識者の皆様から貴重な御意見を賜りました。御意見の一部を紹介します。

地元に残すかということ親や先生が考えていかなければならない。そうしないと地域がつぶれてしまう。特に地域を愛するというのは子どもよりもまず親、そして地元で働いている我々が考えなければならないと思う。

住んでる私たちが誇りを持つ郷土を愛する気持ちが必要、それを子どもたちに伝え、一回出たとしても、10年後、20年後郷土に帰りたいという気持ちを育てて行くことができたと思う。

観光について「あるものを活かす」という視点を盛り込んでいただきたい。

人材不足は、どの業種でも共通の課題。外国人の受入も規制が厳しく、課題も多い。労働力の確保についての取組の方向性を盛り込んでいただきたい。

**北薩地域振興局では、この取組方針に沿って、北薩を元気にするための施策を積極的に進めてまいります。**